



# 自衛隊員は安全なのか？



# 「南スーダンの現状と 国連PKO活動の変質」



講師 日本国際ボランティアセンター (JVC) 代表理事

## 谷山 博史 (たにやま ひろし) 氏

1958年東京生まれ。中央大学大学院法律研究科博士課程前期修了。在学中から、JVCにボランティアとして参加。1986年からJVCのスタッフとしてタイ・カンボジア国境の難民キャンプで活動。その後、タイ、ラオス、カンボジアの駐在を経て、1994年から8年間事務局長を務める。2002年からJVCアフガニスタン代表。2006年より現職。2014年より国際協力NGOセンター(JANIC)理事長兼任。

著書に、『NGOの源流をたずねて』(めこん)、『福島と生きる』(新評論)、『積極的平和主義』は紛争地になにをもたらすか?!』(合同出版)などがある。

■日時 **2017年3月23日(木) 午後6時から8時**

■場所 **京都商工会議所 洛央支部**

(所在地) 京都市中京区烏丸通夷川上ル  
地下鉄「丸太町駅」6番出口スグ

■入場料 **無料**

■内容

2016年11月20日、安保法制により、駆け付け警護の新任務を付与された自衛隊が、南スーダンに派遣されました。いま、南スーダンは一体どれぐらい危険な状態にあるのでしょうか？また、自衛隊員の安全はきちんと確保されているのでしょうか？

今回の講演では、日本国際ボランティアセンター(JVC)の谷山氏を講師としてお招きし、南スーダンの現状や、本来平和維持活動であるはずのPKO活動が武器を使用する活動に変質している点についてお話していただきます。この機会に奮ってご参加ください。

主催 自由法曹団京都支部  
連絡先 075-211-4411  
(担当 秋山)

